

# 大阪医科大学 仁泉会ニュース

仁泉会ニュース 第 45 巻 2 号

発行所 高槻市大学町 2 ノ 7  
〒569- 大阪医科大学仁泉会  
8686 電話 072-682-6166

FAX 072-682-6636

発行者 河野 公一  
6,080 部URL <http://www.jinsenkai.net/>

## 平成 26 年仁泉会定期評議員会・総会開催のご案内(第三報)

日時：平成 26 年 5 月 25 日(日)午後 2 時 評議員会 午後 3 時 総会 午後 5 時 懇親会  
場所：母校 歴史資料館 3 階 懇親会場：母校地下食堂 高槻市大学町 2 番 7 号

平成 26 年定期総会並定期評議員会を母校にて開催いたします。

同窓生が一堂に会し、同窓会の現状を審議するのは総会のみであります。万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようご案内申し上げます。なお、総会終了後、恒例の懇親会を催しますので、多数のご参加をお願い申し上げます。

大阪医科大学仁泉会理事長 河野公一

### 平成 26 年 2 月号 目次

1. 平成 26 年仁泉会定期評議員会・総会開催のご案内(第三報) .....	1p
2. 受賞	
平成 25 年度日本医師会研究奨励賞を受賞して .....	学 50 期 谷本芳美 ... 2p
3. 支部だより	
仁泉会福井県支部だより .....	学 47 期 原 隆 ... 4p
平成 25 年度仁泉会和歌山県支部総会の報告 .....	学 29 期 湯川裕史 ... 6p
4. クラス会だより	
卒後 50 年目の同窓会(三九会) .....	学 13 期 藤本 昭 ... 9p
47(学部 21 期)同窓会報告 .....	学 21 期 西脇健三郎 ... 11p
大阪医大女医会のご案内 .....	学 21 期 阪口昌子 ... 12p
第 35 期生 同窓会報告 .....	学 35 期 森脇真一 ... 13p
5. リレーエッセイ	
テコンドーへの誘い .....	学 12 期 佐藤公彦 ... 14p
6. 会員著書 .....	学 23 期 假野隆司 ... 17p
7. 新聞・冊子切り抜き .....	18p
8. 仁泉ひろば	
先達の女医(3) .....	学 4 期 西村 保 ... 22p
9. 本部だより	
会員計報 .....	23p
10. 編集後記 .....	26p

## 受 賞

### 平成 25 年度 日本医師会研究奨励賞を受賞して

大阪医科大学衛生学・公衆衛生学教室  
谷本芳美 (学 50 期)

この度、これまでの研究活動に対しまして、日本医師会医学研究奨励賞を受賞致しました。昨年の平成 23 年度大阪医科大学医学会研究奨励賞ならびに平成 24 年度大阪医学大阪府医師会長賞に続いての受賞であり、感慨もひとしおです。と同時に、このような受賞を頂けました背景には、河野公一名誉教授や衛生学・公衆衛生学教室の先生方ならびに仁泉会の諸先生方のお蔭と大変感謝しております。

授賞式は平成 25 年 11 月 1 日に日本医師会館にて、日本医師会設立記念医学大会の席上で行われました。式典では日本医師会最高優功賞、優功賞、医学賞、医学研究奨励賞の授与と、併せて長寿会員慶祝者の紹介が行われました。地域における医療活動により、医学、医療の発展又は社会福祉の向上に貢献された先生方が、様々な分野から計 13 名表彰されておられました。それらの功績を尊敬の念で拝見致しました。また、驚きましたことは米寿会員が 1,495 名もおられ、白寿会員も 36 名と紹介されていたことです。日本医師会の会員数は 165,955 名ですので、米寿会員は約 0.9% に当たります。一方、少し乱暴ですが、日本国民



受賞懇親会にて  
鹿児島県医師会副会長野村秀洋先生と一緒に

25 歳以上のうち米寿者の占める割合は約 0.09% ですので、医師会の先生方の御長命には目を見張るばかりです。私の研究テーマが「高齢期の介護予防を目的とした健康づくり」ですので、今後益々研究活動に励まねばと、心新たに帰阪致しました次第です。

今回受賞致しました研究内容は、「高齢期における筋肉量減少症（サルコペニア）の定義およびその妥当性の検証」です。1997 年に高齢期における筋肉量の減少は、身体的脆弱を引き起こす病態としてサルコペニアと名付けられて以来、諸外国においてはサルコペニアと生活機能や身体活動との関連についての報告が多数なされてきました。わが国においても公衆衛生学、老年医学、整形外科学な

ど様々な分野においてサルコペニアは近年取り組むべき課題として重要視されており、現に介護予防事業などでも市町村において筋肉量減少を防止するための事業が展開されています。

私は 2003 年より一貫して、高齢者の筋肉量に関する研究を行ってきており、まず基礎研究とし、18 歳以上の日本成人 4,003 人を対象としてバイオインピーダンス法より測定した筋肉量の加齢変化について明らかにしました。そして高齢者の低筋肉量値を 18 歳～39 歳までの若年者 1,719 人のデータから筋肉量補正值（四肢筋肉量／身長<sup>2</sup>）の平均値から男性 $\leq 7.0\text{kg}/\text{m}^2$ 、女性 $\leq 5.8\text{kg}/\text{m}^2$ が高齢期における低筋肉量値であることを報告しました。さらに、サルコペニアと生活機能および身体機能との関連についてなど報告しており、高齢期においてサルコペニアは予防すべき病態であることを明らかにしています。ところが、2010 年に発表されたヨーロッパのサルコペニアに関するコンセンサスでは、サルコペニアの判定には筋肉量だけでなく筋力および身体機能を含めることが提唱され、我が国での報告がないこと、人種により筋肉量は異なることが報告されていること

から、日本人を対象としたサルコペニアの定義に関する早急な検討が必要となってきました。また、わが国は長寿国であり、要介護認定者数が 2000 年から 2011 年の間に 2.3 倍に急増しています。要介護の直接的原因として、衰弱・骨折・転倒・関節疾患は全体の約 40% を占めており、これら疾患の多くがサルコペニアに直接的または間接的に関与している可能性があります。このことから高齢期におけるサルコペニアの予防は介護予防の観点から非常に重要であり、そのためにサルコペニアの定義づけは喫緊の課題ともいえます。

以上より、我が国の地域高齢者を対象とした 3 年間の縦断研究からサルコペニアの定義、および妥当性の検証を行う運びとなりました。サルコペニアの定義を我が国で初めて確立することができれば、サルコペニアの早期診断および早期予防が期待でき、その結果、要介護移行の防止および我が国の高齢者の健康寿命延伸に貢献することができるという成果に向けて励む所存です。

今後とも会員諸先生のご健康を祈念致しますと共にご指導・ご助力をよろしくお願い申し上げます。

### 仁泉会年会費 納入のお願い

年会費	平成 25 年度	10,000 円
	平成 24 年度	10,000 円
	平成 23 年度	10,000 円

まだ、お納めになっておられない会員先生には、納入のご協力をお願いいたします。

事務局 会計係

## 支部だより

### 仁泉会福井県支部だより

平成25年11月9日(土)に福井県あわら市あわら温泉にあるグランディア芳泉で、仁泉会福井県支部総会および懇親会を行いました。福井県支部総会は毎年ほぼ11月頃の開催となっております。当日はほぼ例年通りの9名の同窓諸兄姉の参加がありました。今回は卒業4年、第58期の谷尾信先生に初参加していただき、福井県仁泉会の今後の盛り上がりを目指す私たちには非常にうれしい会となりました。

例年は夜のみの会なのですが、西野慎吾先生や幹事の加藤佳典先生のお計らいで、今年は泊りがけの会となりました。9日夕方に集合し、総会まで各自温泉に入ったりテレビ鑑賞をしたりとゆっくり過ごしました。その後部屋を移動し総会、写真撮影が行われました。加藤佳典先生のいつも通りのテキパキした進行で報告、庶務、会計報告が行われ、充実した会となりました。

次はいよいよ懇親会です。まずお目見えしたのが、解禁になったばかりの特大の越前ガニ3杯でした。福井県民でも高価すぎて減多に食べることができない特大の越前ガニをしかも3杯!!各先生方も驚きを隠せません。このサプライズにますます場が和み、いつも以上に和気藹



々と会が進みました。お腹も満たされお酒も入ったところで、各自の近況報告が行われました。次に片山外一先生のリードで学歌斉唱し、二次会に移りました。

二次会は同館内にあるカラオケバーです。各先生方は自慢ののどを存分に披露され、深夜までおどりが交えながら楽しみました。一番下の私が最初にダウンしてしまいましたが、その後も各先生方はずっと歌いおどっていました。そのタフさに非常に驚くとともに、こんな先生方に支えられている福井県仁泉会は今後も安泰だなと感じました。

来年（H26 年）も同時期に開催される予定で今から大変楽しみにしているとともに、次回も新しい福井県在住、在職の先生方のご参加を心よりお待ちしております。

ます。今後も開催させていただいた折にはご報告させていただきます。

なお、当日の参加者は以下のとおりです（敬称略）。

西野慎吾(学 11 期) 青山文代(学 21 期)  
安井多喜雄(学 23 期) 加藤佳典(学 24 期)  
片山外一(学 25 期) 津田明美(学 31 期)  
五井孝憲(学 38 期) 原 隆(学 47 期)  
谷尾 信(学 59 期)

(文責 原 隆 学 47 期)



## 平成25年度仁泉会 和歌山県支部総会の報告

平成25年11月9日(土)

於 ホテルアバローム紀の国 和歌山市

不安定な変な気象の続く平成25年でしたが、仁泉会会員の皆様にはご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。恒例の仁泉会和歌山県支部総会が11月9日(土)に行われました。本年は、消化器病特に上部消化器疾患の分野でご高名な、大阪府済生会中津病院院長補佐の蘆田 潔先生(学28期)にご講演をいただきました。

総会に先立ちまして、本年ご逝去された池田一義先生(9期)に対しまして黙祷を捧げました。

総会では、まず古田浩太郎支部長(学14期)からご挨拶を頂き、寺田先生(16期)丸山先生(学14期)両先生の

叙勲のご披露と、仁泉会ニュースから、仁泉会総会において植木理事長の創立90周年記念事業についてのお話や、竹中学長から国試成績87%と悪かったとの報告があったことを言われました。両先生ともに、来年「看護学部」が完成年度を迎えて大学院看護学研究科を設置する事の報告があった、等々述べられました。

田伏俊作先生(学20期)からの会計報告と柳川泰彦先生(学28期)からの会計監査報告に引き続きまして、湯川から庶務報告(県支部の現況、活動、特別講演と開催地の変遷など)をいたしました。会の運営についてご意見を求めたところ、中田教授から「もっと古い先生方にも出席をお誘いしては…」とのご発言を頂きましたが、総会の案内は皆さんに連絡しておりまして、出欠のお返事はもとより、「古い先生方」からも「一言コメント」など頂いている中で「足腰が弱



くなくて…」のご報告が多くなってきている事をお答えいたしました。

では、そんな先生方にもう少し出席していただくために開催地を移動させてはどうか、近くで開催すれば足を運んでいただけるのでは、とのご意見も出ましたが、南北に長い和歌山、交通機関などのアクセスの悪い和歌山でありますから、最も集まりやすいのが和歌山市でして、開催地を他に回すのは難しいのとはなりました。来年も平成 26 年 11 月 8 日（土）に和歌山市での開催とすることをご承認頂きました。

次に、名簿の作成が逐年に必要なについて問うたところ、ご勤務の先生方は 1 年ごとの移動も多く、やはり毎年の名簿の作成が望ましい、とのご意見がありました。名簿は次年も作成するとして、発行は 4 月以降に先生方の移動が決まってからとすることのご了承を頂きました。

引き続き、蘆田先生のご講演は、「これまでの潰瘍、これからの潰瘍－治療から予防へ」とのテーマでお話を伺いました。

これまでの潰瘍はピロリ菌が話題の中心でしたが、これからの潰瘍は、抗凝固療法や NSAIDs によるものが問題となるであろうとのことで、多くの症例をご提示頂きました。いまや胃潰瘍患者の半数以上が抗凝固剤や NSAIDs を服用していることから、抗凝固療法や NSAIDs 服用中の高齢者には抗潰瘍剤の予防投与が望ましい事、NSAIDs 服用時の胃潰瘍予防投与としてはムコスタなどの粘膜保護剤よりタケプロンなどの PPI との組み合わせが望ましい事、アスピリンは大きな症状もなく深い潰瘍を形成して大出血につながるため潰瘍予防が大事である事、PPI は眠前投与よりは夕食前の方がよく、H2 ブロッカーは眠前の方が効果

### 仁泉会和歌山県支部総会講演

- |             |                                    |  |
|-------------|------------------------------------|--|
| ・ H17.11. 5 | 和医大第 2 外科准教授<br>(現 本学一般腹部外科教授)     | 内山和久先生 (学 32 期)  |
| ・ H18.12. 2 | 松谷医院 院長                            | 松谷良清先生 (学 32 期)  |
| ・ H19.11.17 | 岸和田徳洲会病院放射線科部長                     | 園村哲郎先生 (学 35 期)  |
| ・ H20.11.15 | 日赤和歌山医療センター産婦人科部長                  | 吉田隆昭先生 (学 36 期)  |
| ・ H21.11.14 | 和医大循環器内科講師<br>仁泉会常務理事・前学長<br>仁泉会理事 | 平田久美子先生 (学 43 期)<br>植木 實先生 (学 12 期)<br>安藤嗣彦先生 (学 20 期) |
| ・ H22.11.13 | 大阪医大微生物学教授                         | 佐野浩一先生 (学 29 期)  |
| ・ H23.11.12 | 北摂総合病院院長                           | 木野昌也先生 (学 20 期)  |
| ・ H24.11.10 | センブククリニック                          | 千福禎博先生 (学 32 期)  |
| ・ H25.11. 9 | 大阪済生会中津病院院長補佐                      | 蘆田 潔先生 (学 28 期)  |

が大きい事、ピロリ菌除菌は潰瘍が治つてからの方がよく、先に除菌すると潰瘍が治りにくい事、などなど教わりました。

ご講演後のフロアからの後を絶たない質問にも丁寧に答えて頂きました。消化器外科医である私はもとより、他科ご専門の先生方、一般医として地域でご活躍の先生方にも頷けるような、また目を見張るような内容であったかと思えます。

これまでの特別講演をいただきました講師の先生方は表の如くです。

次年度の講師の方のご推挙を蘆田先生にもお願いしていますが、どなたか和歌山の地に出向いて旧交を温めるとともに一言しゃべってやろうと言って頂く方、募集いたしますのでご一報ください。

集合写真撮影の後の懇親会には蘆田先生は残念ながらご出席頂けませんでした。乾杯のご発声を橋本忠明先生（学 25 期）をお願いして、懇親会は賑やかに進みました。各先生方からこの 1 年のご報告を頂きましたが、今年は多くの先生方から旅行や趣味の話がありまして、出不精や

無趣味の湯川には先生方のご活躍は羨ましい限りと拝聴していました。

1 年ぶりにお会いする先生方も多く、特に余興もなかった割には皆さん大いに話に花を咲かせておられまして、時間の経つのも失念するほどでした。約 2 時間半の盛会を学歌斉唱で閉めまして、寺田先生、中田先生をお見送りした後、若い先生方は 2 次会へと夜のとばりに消えて行かれました。

（記 湯川裕史 学 29 期卒）

#### ご出席

学 28 期 蘆田 潔 先生

16 期 寺田泰治、17 期 中田勝次

学 14 期 古田浩太郎、学 20 期 田伏俊作

学 25 期 橋本忠明、学 28 期 柳川泰彦

学 29 期 湯川裕史、学 31 期 柳川百世

学 36 期 吉田隆昭、学 41 期 木下博之

学 41 期 丸山晋右、学 42 期 塩崎 憲

学 50 期 岡 智子、学 54 期 片岩真依子

学 57 期 川口 直、学 61 期 浅江仁則

学 62 期 仲河恒志 計 18 名



## クラス会だより

### 卒後 50 年目の同窓会（三九会）

学部 13 期 藤本 昭

私達学部 13 期生は、昭和 39 年の卒業で同窓会名を三九会と称しています。卒後 50 年になりますので、昨年 11 月 23 日、24 日の連休を利用し、50 周年記念三九会を行いました。

私が幹事に指名されましたので、この原稿を書かしてもらっています。

さて、卒後 50 周年になると、同期の約半数が後期高齢者ですが、その多くは、また現役で働いている様です。

今回は卒後 50 周年と云うことで、医師としての教育を受けた、母校の現在の姿を見たいと云う要望があり、集合場所を大学の歴史資料館（初代の大学本館の



階段教室で

東側にあった別館が残っている）にした。そこでは、学生時代に学んだ急な階段教室を模した教室で、同期の富士原彰名誉教授（救急医療部）から、パワーポイントで、入学時から卒業までの病院や教室の様子、また高槻の町の変遷などの解説を受け、学生時代の思い出を呼び起してもらった。その後、館長の成松さんの案内で、総合研究棟の 13 階からの高槻の発展ぶりをながめ、講義室や実習室や 23 時まで利用出来る図書館など見学し



懐かしい旧大学本館のイラストをバックに（研究棟ロビーで）

前列 左側から 藤本、尾崎、山本、林、安形（車イス）、古山（上田）、中部（中村）、佐伯（石井）、田中（山村）  
後列 左側から 石田、石井、横山、小笠原、西浦、萱沢、久次米、松田、津田、富士原、中埜、原、檜垣

た。当時の敷地は正門から北門までの半分しかなく、北側半分は京都大学の化学研究所であったこと、現在は北側の道路の向いに立派な講堂を持つ看護学部の校舎があることなど、約2時間の見学を終え、バスで有馬グランドホテルへ向った。其所で、直接ホテルに着いたメンバーと合流し、総勢41名（30家族）が集った。療養中の仲間を含め現在の会員は47名なので、出席率64%となったので、盛会となった。仁泉会のクラス評議員の古賀教一郎君から、学生時代（ポリクリ）のなつかしい写真をミニアルバムにして、それを全員に頂いて、更に学生時代の懐かしさに花をそえてもらった。次いで昨年（平成25年度）の春と秋に叙勲を受けた、安形篤君と和気隆三君にお祝を贈呈し、宴会が始まった。学生時代の話や



宴会の光景

新米医師時代の話に時が経つのも忘れた。

翌日は、六甲山、北野工房でMy 箸の色付けを行い、南京街で、飲茶ランチの昼食後互いの健康と再会を約して解散となった。

最後に今回の参加者から寄付を募り、思い出の階段教室の机募金をさせて頂きました。



開宴前の勢揃い（有馬グランドホテル）

前列 左側より 竹内夫人、古賀夫人、古山（上田）、小笠原、中部（中村）、佐伯（石井）  
 二列目 左側より 藤原夫人、山本、三田、古賀、安形、林、藤本、田中（山村）、津田、村川（安藤）、尾崎  
 三列目 左側より 石田、石井、和気、松田、富士原、西浦、檜垣、田中  
 四列目 左側より 林夫人、新見夫人、富士原夫人、中埜夫人、檜垣夫人、西浦夫人、新見、久次米、中埜、藤原、萱沢、原、竹内、横山

## 「47（学部 21 期）同窓会報告」

1964 年東京オリンピックを成功のうちに終えた日本は、その後、本当に元気だった。

そんな元気な風景の中、大阪医科大学でよく学び（私は除外）、よく遊び、そして、学生運動といった「麻疹」にも罹ったりしたのが、私たち 47（学部 21 期）生である。確か、5 回生の時には、直ぐそばの千里丘陵で国際万国博覧会（大阪万博）も開催された。未来に夢が持てた時期であった。

1972 年（昭和 47 年）卒業。

私は卒業式を終え、一旦、実家のある長崎に帰省後、国家試験受験のため、あまり日をおかずに夜行列車で上阪した。

翌朝、大阪駅に到着。そこで駅の待合室のテレビにくぎ付けになってしまった。「浅間山荘事件」の生中継が、その日一日テレビで流され、高槻のアパートにたどり着いたのは、夜遅くなってからだったのを記憶している。

今になって思うと、何か時代のターニングポイントの時に医師としてのスタートをきったようである。

それからは、豊かさを求め続ける日本の各地域で、私たち 47 生は、医療を、そして医学を生業として歩んできた。

2013 年 10 月 13 日その 47 生 22 名が長崎の雲仙温泉に集った。お世話役は雲仙岳の麓で眼科医院を開業している中村晋作君（以下：晋作）と奥様（以下：奥さん）である。



大阪医大 47（学部 21 期）生同窓会 2013.10.13 於 東園

時の流れは、皆を変えていた。老いたとは言うまい。ただ、今も「直球」で勝負しているのは、私と後二人だったかな？ ほとんどが、世代交代などでボチボチと言いながらも、これまで培ってきた業（わざ）で「変化球」勝負と、いやいや中々頼もしい面々で意気軒昂だ。そんな中には、リタイヤしたと言いながらも、超スローボールで飄々と、まさに行雲流水のごとくマウンドに登っているのもいたね。これまたうらやましい限りである。

当日は天気にも恵まれ、宿泊したホテル東園の裏庭からの夕焼けはことのほか美しかった。同じように黄昏時の私たち47生の集いも、やはり素敵で心地いい同窓会であった。黄昏時もまんざらではないね。

そう、体調を崩して参加できなかった岡野君から手紙をいただいていると晋作が、相変わらずのしゃがれた声で、いやいや声で読み上げ紹介してくれた。

となると、岡野君も出席だ。これで、47生23名がお山雲仙に集い、楽しい一夜を過ごしたことになる。

さあ、これからは黄昏時の延長戦だ。

2020年は、そう「TOKYO」に集まろう。私たちにとっては2度目の東京オリンピックだ。岡野君は「サッカー」、私は「7人制ラグビー」晋作と奥さんは「テニス」（テニスは五輪の正式種目だったかな？ まあ～どうでもいい）、他の諸君は、各々勝手に楽しんでくれ……！

さてさて、この黄昏時の延長戦は何時まで続くことやら……！

（文責：西脇健三郎 学21期）

## 大阪医大女医会のご案内

寒さ厳しい毎日ですが、大阪医大女医会の先生方におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、このたび平成26年度の例会を下記の通り開催いたします。ご多忙な時期とは存じますが是非多くの先生方のご参加をお待ちしております。これまで参加出来なかった先生も楽しい会ですのでお気軽にご参加下さい。

### 記

日時 平成26年6月28日（土） 午後6時より

場所 『ルポンドシェル』 大阪市中央区北浜東6-9 TEL 06 (6947) 0888

会費 20,000円前後になる予定です。

平成26年2月6日

担当幹事 第21期 阪口昌子  
青山文代

問い合わせは 阪口 まで

## 学 35 期生 同窓会報告

平成 25 年 11 月 30 日、年の瀬もいよいよ押し詰まった土曜の夜、大阪のリーガロイヤルホテル牡丹の間にて、大阪医科大学・学 35 期生（昭和 61 年卒業）の同窓会（別称「さんごの会」）が行われました。前回、平成 21 年 12 月に同じ場所で開催してから約 4 年ぶりの同窓会です。

今回は、最近本学を含めて教授に就任した同級生が複数名いたため、彼らの就任祝いも兼ねての開催となりました。

学 35 期生で、最近教授に就任された先生は以下の通りです。

- ・工藤 喬 君  
（大阪大学保健センター）
- ・高須 朗 君  
（大阪医科大学 救急医学）
- ・土手友太郎 君  
（大阪医科大学看護学部看護学科）
- ・三島一彦 君

（埼玉医科大学国際医療センター  
脳神経外科学）

我々学 35 期生は卒業時 109 名で、1 名の物故会員を除いて現在 108 名が全国の第一線で医師、研究者として活躍しています。今回、同窓会の案内を出したところ、年末の忙しい時期にもかかわらず、多くの先生から返信をいただき、参加人数は 49 人となり、予想以上に大勢の学友が全国より集まりました。梅垣英次君（本学第二内科）の乾杯の発声で会は始まり、みんな久しぶりの再会で、楽しい会話で盛り上がりました。4 名の新任教授、遠方より来てくれた先生方に近況報告をしてもらい、仕事のことだけではなく、髪の毛の話、体型の話、自分の健康の話、子供の受験の話、解剖実習で口論した昔話などで大いに盛り上がり、大いに笑い、いくつになっても遠慮なく話せる同期の存在をあらためて嬉しく思いました。

今回は関東、静岡、山陰方面からも多



数参加してくれました。中にはプログレシブロックのバンドメンバーとして CD デビューした消化器外科医、ワインのソムリエの資格をとった放射線科医、クリニックが大盛況でお金が余って仕方がない(?) 内科医などがいて、みんなそれぞれオン、オフをしっかりと分けて人生を楽しんでいるようでした。最後に前村憲太郎君(本学解剖学)による中締め挨拶のあとみんなで集合写真(焼津市の原田隆文君撮影)を撮り、一次会は大盛況のうちに終了しました。

その後、口頭で 2 次会(@同ホテル地下のセラーバー)のアナウンスをしたところ、多忙にもかかわらず 46 名(一次会の出席者のほとんどです)が参加し、懐かしい思い出話に再び花が咲いていました。

今回の同窓会はいつになるか全くわかりませんが、各々、再会を約束して三々五々、スモールグループをつくって北新地方面などに散っていきました。我々は同じ時期から医学を学び、同じ場で 6 年間苦楽を共にして、27 年前に方向は違っても一緒に社会にはばたいた仲間です。一緒にいれば緊張感から解放され、いつでも素を出せる、難しい問題でも相談できる、そんなかけがえのない存在が大学の同期だと思います。今回の同窓会は、そんな同期生の絆をいつまでも大切に思いたいと新たに感じさせた貴重なひと時になりました。

(同窓会幹事 森脇真一 学 35 期)

## リレー エッセイ

### テコンドーへの<sup>いざな</sup>誘い

常任理事 佐藤公彦 (学 12)

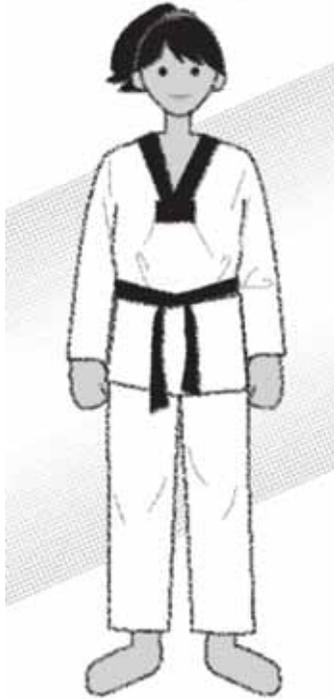
私は平成 20 年以降、大阪府テコンドー協会会長にて、テコンドー関連の知見を記してみたい。

円とウォンの戦後の相場は、朝鮮戦争を挟んだと雖も、昭和 35 年の 4・19 革命(財政破綻で李承晩大統領・ハワイ亡命)、昭和 36 年の 5・16 革命(朴正熙陸軍少将が政権樹立)の以前迄は、ドル換算で 100 円 = 60 ウォンで、ウォンの方が強かった。東京五輪で円とウォンは対等となり、千里万博で 2 千円 = 3 千ウォンと逆転し、その後、円は昭和 46 年の変動相場制に移行した。私は昭和 47 年に単身、ソウル大学を訪ねたが、街には靴磨きもいて、さながら進駐軍の気分だった。そんな時、韓国歌謡に<sup>はま</sup>嵌った。

昭和 51 年に開業した頃から、私はミナミの韓国スナックで領事館勤務の若い外交官等と知り合い、彼らが離任した後でも、後任者を紹介されていた。キタの韓国クラブのトイレで偶然、とある外交官とすれ違った時、「ママには商社マンと云っているから宜しく」と云った話も出来る仲にあった。

新世紀を前にした平成 10 年 10 月、金大中・小渕会談があって、韓国では米国人に接するのと同様に、日本人にも接するとした合意がなされ、私は演歌の解禁と勲章とかに些か拘わった。早速、平成

## WTF テコンドーの道着



11 年 4 月、「韓国平和賞金章大賞」授与式があるとの事で、私がソウル市医師会や大韓泌尿器科学会に交流がある事等を踏まえて、領事館が急遽、私の受賞推薦に動いてくれた。私も前年、労働大臣表彰とか日医会長功績賞表彰を受賞した時、件の外交官にも祝宴の招待状を差し出していた。

韓国平和賞金章大賞は勲章・勲記・襟賞の 3 点セットで、その何れもが、殆どの日本人が見た事のない大日本帝国陸海軍の金鷄勲章に酷似していて、調べた所、私には大佐級サイズだった。

当該勲章は翌年以降、選考業務が東京の韓国大使館に移り、翌年次は戦前から慶尚道と姉妹都市縁組にあった鳥取県の知事が、そして、翌々年次には日韓 WC

の関係者が受章されたように伺っている。先年、大阪マラソンを走られ、一躍時の人として有名になった金碩基・前総領事は現在、仁川国際空港社長としてご活躍中。

また、私は日本歌手協会の田端義夫会長と青木光一理事長をソウルに引率した廉で、平成 12 年 10 月、(社)韓国演芸協会歌手分科委員会より感謝牌を頂いた。青木光一先生からは目黒区柿ノ木坂 1 丁目 1 番地のご自宅にも呼ばれた。これらの受賞を機に、私は分派していた大阪府テコンドー協会の名誉会長として、1 本化に向けた仕事に励む事となった。

テコンドーは漢字で跆拳道と表記し、跆は踏む・跳ぶ(跳ねる)・蹴る等を意味する。テコンドーの源流は 5 世紀の高句麗壁画に「テッキョン」と称する朝鮮古武術の足技が見られ、「眼つぶし」とか「殺し手」とかと云った「禁じ手」があった。「テッキョン」を表記する漢字はないが、日本統治下の朝鮮では、空手が推奨・普及されていった為、テッキョン等の朝鮮古武術は衰退し、漸次壊滅状態に陥った。

昭和 29 年、李承晩大統領の前で崔泓熙陸軍少将が連隊を組んで空手の型を演武した時、身体的には憲兵に生爪を剥がされた嫌悪から、日本嫌いで通っていた李承晩大統領から「何の演武か？」と尋ねられ、空手とは云えず、咄嗟に「テッキョンの創作だ」と述べた。李承晩大統領からその後、公式にテコンドーと命名され、軍隊で普及し発展した。

昭和 46 年、朴正熙大統領から「テコンドーは国技」と云う揮毫(筆で書く)が授けられ、国技院がソウルに設置され

た。尚、私は平成 20 年、国技院よりハングル文字で 4 段位を拝命し黒帯を着用。テッキョンは平成 23 年、ユネスコ無形文化財遺産に登録された。

テコンドーの効用には子供のイジメ対策がある。例え戯れ合いであろうとも、反発するには気軽な蹴りが有効である。その所以は、手で刃向かうには勇気が必要で、一瞬の遅れが生じるからだ。空手も同様にイジメには有効だが、「下手な寸止め」が重大事故に繋がる場合があって要注意。テコンドーは纏れながら場外に出るので、怪我はない。

また、テコンドーはバランスが良くなければ、得点となる有効な蹴りは繰り出せない。次に、長足と短足では、何れが有利かと云うと、実際の跳び蹴りでは体位が斜めに浮いており、下肢プラス骨盤の長さとなるので、体重別では略々同じ長さになり、バランス上では有利な短足が逸早く得点になる。また、短足は目測よりも足が長く伸びてくる感があって、相手の一瞬の無防備を突く形となる。

テコンドーの道着は柔道や空手のように、身体の前面で合わせて帯を締めるのではなく、水兵のように頭からスッポリ被る形の道着で、襟が黒く縁取られている。エアロヴィクスに似たテコンドヴィクスでも、同形の道着でエクササイズされている。

公益社団法人全日本テコンドー協会（所在地：岸記念体育館 3 階）は、平成 25 年 12 月 10 日、内閣総理大臣・安部晋三の署名入り勧告書を受領した。具体的には、貴協会たる組織が、都道府県各協会の代表である正社員（評議員とか代議員に相当）の数人に対し、資格停止、

延いては除名とかに至った一連の処分に関し、それが社員総会での処分ではなく、単なる理事会決議でなされたと云う手続が、一般法人法 48 条に違反していると云う裁定で、本年 1 月 21 日迄に是正せよとの勧告だった。

この種の勧告は、全日本柔道連盟（平成 25 年 7 月 23 日、暴力問題）、及び、全日本アイスホッケー連盟（平成 25 年 11 月 19 日、評議員の越権行為）に次ぐ 3 例目の公益法人法に基づく勧告書だと云う点も付記されていた。

内閣総理大臣・安部晋三の署名入り勧告書は、恰も黄門様の印籠の様で、速やかに国税局、警察等を動かしたと思う。早速ながら内閣府は平成 25 年 12 月 27 日、4 年間の補助金の内、不適正な 3648 万円（全日刊紙報道）を特定し、本年 1 月 31 日迄に返還せよとの命令を発した。事件の遠因は国技院での 6 段位受領だったが、日本国内には 7 段以上が皆無なので、6 段の審査は物理的に出来ないが、全日本協会にも手数料を寄せせよと云う問題だった。

大阪府、熊本県、福島県、宮崎県、高知県、福岡県の各テコンドー協会は、反会長派の絆によって、スポーツ仲裁機構での勝訴判決を勝ち取り、また、会長相手に各地裁で民事訴訟を起こす等して、執行部改革を叫んできた。やっと此処まで来たかと云った感がある。本年 6 月の総会に向けて、最後の詰めを間違いなく遣り遂げたい。

## 会 員 著 書

学部 23 期假野隆司先生の著書『「新型うつ病」は存在しない』が 2014 年 1 月 15 日栄光出版社より出版されました。假野先生のお言葉とともにご紹介させていただきます。

事務局編集係



著 書 「新型うつ病」は存在しない

出版社 栄光出版社

〒 140-0020

東京都品川区東品川 1-37-5

電話 03-3471-1235

定 価 本体 1500 円 + 税

### 著者ご挨拶

12 編を重ねた保険医の総説シリーズの番外編として一般向けの本書を一般出

版社から出版しましたので送付致します。本書は昨年 1 月 3 日に校了して、一般出版社 10 社に順次投稿致しました。6 社から断られ 1 月 6 日に最初に投稿した出版社を含めて 4 社はいまだに何の連絡もありません。断られた理由は「内容が難しく専門用語が多すぎる」でした。仕方なく医系出版社 2 社に投稿しましたが両社とも査読、編集会議は通ったのですが、問屋に断られました。理由は「一般出版社と流通が異なるので売れない」でした。今回出版してくれることになった栄光出版社は 20 年前に AID（非配偶者間人工授精）をテーマにした推理小説「遙かなる韜晦」、「血の神話」を持ち込んだ出版社で当時は推理小説の登竜門でした。かの内田康夫も初作を同社から出版しています。その時の編集長、現社長が私の名前を覚えてくれました。縁があったのです。本書は私の推理小説の、序盤は興味を引くように導入して、その後は漠然とした事実を提示して、中盤に具体的事実を網羅的に淡々と小出しにして、終盤に一気に真相に迫るという作風を強く意識して執筆しました。推理作家にはなれませんでした。推理小説仕立の本書を上梓したことで気が済みました。尚、通常、本書のような書籍はプロのライターによってリライトされますが、本書は他人の筆は一切入っていません。このため私の人格特性や哲学が良くも悪くも色濃く表出していると思います。

お暇な折に笑読していただいて御批判を賜れば幸いです。時節柄御自愛ください。

学 23 期 假野隆司

新聞・冊子切り抜き

2014 年 1 月 18 日 (土) 付け毎日新聞 夕刊に掲載されました塘 二郎先生 (学 6 期) の記事をご紹介します。

事務局編集係

極東の「島」いまや希少種

まちのホコリ



※「外はとても寒いですが、今日は暖かい風をお送りします」クリスマスライブに集まった観客に、塘さんは優しく語りかけた。出演する「塘二郎とアロハアイランダーズ」二いずれも大阪市北区のボニーラで昨年12月22日、後藤山印刷製

昨年12月22日夜、大阪・梅田。「ハワイアン・ナイト」と題したクリスマスライブが始まる。南国の風が一時にして観客を包んだ。演奏するのは「アロハアイランダーズ」。結成46年、メンバー4人の平均年齢は75歳という長寿バンドだが、月1回のペースでライブに出演する。

「81が、私、本職は医者でしてね」と語り始める。観客から「へま」と声が上がった。大阪・上本町(天王寺区)で、町のお医者さんとして長年親しまれてきた。バンドでは、ハワイアンの甘くて切ないメロディーを奏でる、スティールギターの担当だ。

ハワイアンとの出会いは太平洋戦争中。真珠湾攻撃を伝えるニュース映画で敵国の兵士が聴いているのを見て、小さな胸に憧れを秘めた。そして、大学3年の冬、日本のハワイアン音楽の単分け的存在、パッキー白片さんの生演奏を聴き、一気に花開いた。それまでのハワイアンとは別次元だった。小遣いをはたきスティールギターを手に入れた。

「本職」が忙しく、しばらく演奏から離れたが、1987年、学生時代の友人と再会しバンドを結成。パッキーさんから直接アロハの名前をもらう実力で知られるようになった。しかし、その頃、本家ハワイでは、フラアームの到来でハワイアンが変容をとりかかっていた。フラの音楽は「メロ」と呼ばれる歌がメイン。バンドはその伴奏、という位置づけになり、それまでメロディーを担当していたスティールギターは役割を失った。もともと演奏が難しかったこともあって、弾き手も減ってしまったという。

アロハアイランダーズも時代の流れと無縁ではいらなかった。結成20年を過ぎた頃、2人が「時代遅れの音楽だ」とバンドを去った。しかし誰が何と言おうと、塘さんにとっては、スティールギターが奏でるメロディーあつてのハワイアン。「パッキーサウンド」こそが本物だった。

新メンバーを迎え、解散の危機を乗り切ると、96年にはライブを聴いた広告マンにスカウトされてCMに出演。観客の興「マロニー」の夏の売り上げアップを狙った企画で、「サラタ」には、サラタには「マロニーちゃん」という歌詞に、塘さんが歌をつけた。中村玉緒さんが踊るフラのバックでアロハアイランダーズが演奏するCMは、全国で放映された。実は、パッキーさんも医学部卒業。口癖は「僕は医者にはならなかったが、心の医者になった」。だった。そんなパッキーさんを追って60年。塘さんは「始めた頃は『モダン・ハワイアン』だったのが、今は『ビンテージ』ですね。まあ、僕らもビンテージみたいなもんやけど」。

「体の医者」と「心の医者」、塘さんの二足のわらじは風合いを増すばかりだ。(山田夢留【隔週掲載】)



安藤嗣彦先生（学 20 期）よりお寄せいただきました 2014 年 2 月 8 日発刊の日本医事新報掲載の振津かつみ先生（学 33 期）の記事をご紹介します。

事務局編集係

## 原爆被爆者施策を 原発事故被災地に 活かす



振津かつみ

○ふりつ かつみ  
兵庫医科大学遺伝学

大阪医大卒。内科医。大阪在住の原爆被爆者医療に携わる。阪大博士課程修了（放射線基礎医学）。1991 年よりチェルノブイリ支援活動。2011 年東日本大震災以降、福島第一原発事故被災地で健康相談などに取り組む。12 年「核のない未来賞」（ドイツ）受賞。

広島・長崎の原爆被爆者は、被爆者援護法に基づいて健康手帳を取得すれば、原爆傷害との起因性の認定を要しない一般疾病で受診しても、医療費の窓口負担分が国庫から支出される。病気になった時に安心して医療機関にかかれることが、被爆者にとってどんなに心強かったことか。また、年 2 回の健診（血液・尿検査等）と 1 回のがん検診が無料で受けられる。要件に該当すれば、健康管理手当等の諸手当を受給できる。爆心地から 3.5km（外部被曝 1mSv に相当）以内での被爆者が、がん・白血病などに罹患した場合は、放射線起因性を積極的に認定する方針が厚労省から出されている。

現行の被爆者施策は、広島・長崎の被爆者と自治体、原水爆禁止運動が長年にわたり国に求め、法整備されてきた。課題は多いが、被爆者が差別を乗り越えて基本的人権の回復を求め、戦争も被爆も「二度と繰り返させない」と強く訴える中で実現させた施策である。

放射線影響研究所による原爆被爆者の寿命調査では、固形癌死のリスクには閾値がない（ゼロ線量が最良の閾値推定値）ことが、2012 年に報告された。また、同じ線量の急性被曝と慢性被曝のがん罹患リスクは、ほぼ等しいとの評価が国際的には主流だ。

2011 年 3 月、東日本大震災に伴い東京電力福島第一原発で重大事故が起り、大量の放射性物質が放出された。文科省発表の汚染地図によれば、放射線管理区域レベル（放射性セシウムなど  $\alpha$  線以外の放射線を出す物質で 4 万 Bq/m<sup>2</sup> 以上の表面汚染密度）の地域は、福島県と周辺県を含む広範囲に及んだ。その地域に居住する約 400 万人の住民は、1 年目の外部被曝だけでも 1mSv を超える追加被曝をし、その結果、被曝量に応じた将来の健康への追加リスクを被ることになった。また、すでに 3 万人を超える労働者が、高線量下の事故収束作業に従事している。

原発重大事故の被害は、被災県だけで対応できるものではない。福島県医師会副会長は、「住民の健康管理は国の直轄事業と位置づけるように」と要請した。また、浪江町をはじめ双葉地方町村会からは、「健康手帳の交付、被災者の健診・医療の無料化、社会保障」など被爆者と同等の法整備の要請が国に出された。

国策で進めてきた原発での重大事故である。すべての被災住民と被曝労働者に健康手帳を交付し、生涯にわたる健康管理と医療給付を行うことは、最低限の国の責任であろう。広島・長崎の被爆者施策と健康影響調査の結果を、福島第一原発事故被災地の健康管理と医療にしっかり活かすべきである。

奈良県支部長西浦孝彦先生（学 13 期）よりお送りいただきました 2013 年 12 月 1 日（日）付け読賣新聞「病院の実力～回復期リハビリ編～奈良版」掲載の鉄村信治先生（学 44 期）の記事をご紹介します。

全国各地の新聞・冊子等に卒業生に関する記事が掲載されました節には、新聞・冊子等原本（印刷手続き後お返しします。）並びに原稿等を事務局宛にお送りくだされば幸甚に存じます。

事務局編集係

## 退院後も患者を訪問

奈良東病院 鉄村 信治副院長



天理市の奈良東病院は 5 年前、回復期リハビリ病棟をオープンし、高齢の患者を主に受け入れている。退院後の訪問リハビリにも力を入れており、専門医の鉄村信治副院長(44)は「高齢リハビリは、高年齢で必要性はますます高まる。より質の高いリハビリを提供していきたい」と言う。

病棟では、運動療法を行う理学療法士(P.T.)や日常生活の訓練をする作業療法士(O.T.)、言語訓練などを行う言語聴覚士(S.T.)約 30 人が 365 日態勢で患者を支える。入院時に一人ひとりの「現状・目標シート」を作成し、その日からリハビリを始める。

1 週間後、1 か月後など定期的に開くカンファレンス(検討会)では、家族や患者本人も交えて方針を決めており、「目標としっかりした意志を持つことが回復への近道。治療とリハビ

リは両輪です」と強調する。認知症や高次脳機能障害の患者も積極的に受け入れ、臨床心理士や人が精神的なケアを行うほか、手芸や園芸、スポーツ大会を取り入れるなど工夫している。

退院して自宅で暮らす場合は、必要に応じて O.T. があらかじめ「家庭調査」を行う。段差の有無、浴室やトイレの広さなどを確かめ、手すりやスロープの設置を提案することも。時間も人手もかかるが、「生活の質を高めるには、きめ細かな支援と継続的なりハビリが大切です」と話す。

病院を運営する医療法人は 8 月、天理、奈良両市で 5 か所目となる訪問看護ステーションを設けた。約 20 人の P.T. が家庭を回り、リハビリを行っている。

介護者の不在などで自宅に戻れない場合も、関連の施設で生活支援を受けられる。「チーム全体での長期的な支援が強みです」と鉄村副院長は言う。



### 勧誘電話撃退法 (8 コマ)

ぼん太 (学 31 期)



## 仁泉ひろば

### 先達の女医 (3)

学4期 西村 保

#### 女医養成の一生 吉岡弥生

吉岡弥生は明治4年3月10日、現在の静岡県掛川市で生まれた。父親は村で信望の厚い漢方医だった。

弥生は幼時より聡明で書物好きだった。そして漢方医であった父親の影響もあり、18歳の時に女医を志して上京し、済生学舎に入学した。済生学舎は、当時では女性でも入学できる、唯一の私立医学校であった。そして明治25年、医術開業試験に合格した。女医としては27番目であった。しかし弥生は開業するよりも、さらに医学を究めたい思いから、先ずドイツ語を学ぶべく東京至誠学院に入った。そこで学院長の吉岡荒太から求愛され、明治28年に結婚し、その2年後に東京至誠医院を開設した。

明治33年、母校の済生学舎が専門学校昇格に伴い女性の入学を拒否することになった。弥生は学業の途中で締め出された女子学生のために至誠医院内に東京女医学校を創設し、明治41年に4名の第1回卒業生を送り出した。そして明治45年には専門学校の認可を得て、東京女子医学専門学校になった。この間に至誠医院は規模を拡大して病院となり、大正9年、東京女子医学専門学校は文部省指定校として、卒業生は無試験で医師の資格を得られるようになった。

こうして弥生は至誠病院の院長として、

女子医専の校長として多忙を極めた。そんな中でも弥生は長男を出産する時、分娩室に学生を立ち合わせて実地見学させた話は弥生の気概を示す例として語り継がれている。こんな弥生に患者ばかりでなく、病院や学校のスタッフから大いに信頼され慕われた。

夫の荒太は結婚後、弥生を陰に陽にサポートしたが、持病の糖尿病が悪化して、大正11年、55歳で永眠している。

昭和に入り軍国主義的になると、女流名士としての弥生は国策に利用され、色々な役職に就かされた。それで戦後の公職追放令により全ての役職を辞任した。そして4年後に追放令が解除された。この間、専ら読書に明け暮れたと伝えられている。そして昭和26年、請われて、大学に昇格したばかりの東京女子医科大学の学長に就任し、同時に至誠会会長も兼ねた。さらに日本女医会会長、教育審議会委員、日本医師会参与などの対外活動にも積極的に取り組んでいる。

こうして弥生は昭和34年5月22日、88年の幕を閉じた。遺言により献体され、弥生の育てた大学で解剖された。

弥生の一生を振り返ると、個人的には何かとサポートしてくれた良き夫、良き息子（弥生の次に学長となった）に恵まれ、社会的には女医の養成に尽力し、結果として大輪の花を咲かせる事ができた。正に、功成り名遂げた幸せな人生であったと云える。

東京女子医科大学は、世界唯一の女医養成機関として付属病院のみならず、心臓病、消化器、脳神経、糖尿病の各センターなど、多様な専門施設を持つ医療機関として、大きく発展している。

## 本部だより

### 会 員 訃 報

次の会員が亡くなりました。謹んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

#### 高医 6 期 浅岡孝之先生

平成 25 年 10 月 8 日肺炎の為ご逝去 (100 歳)。昭和 12 年卒。

昭和 22 年 1 月から平成 10 年 10 月まで富山市にて内科を開業され、51 年間地域医療に尽力されました。85 歳で勇退された後もお元気に過ごしておられましたが、昨年 4 月に体調を崩され心不全に肺炎を併発されたとのことでした。

ご遺族 妻 民子様

#### 高医 9 期 長野武正先生

平成 25 年 11 月 1 日肺炎の為ご逝去 (95 歳)。昭和 15 年卒。

昭和 25 年 1 月 20 日から昭和 45 年 3 月まで東京都品川区のいすず自動車いすず病院に内科医としてお勤めになりました。

ご遺族 妻 純子様

#### 高医 14 期 浅野良雄先生

平成 25 年 12 月 8 日肺炎の為ご逝去 (92 歳)。昭和 19 年卒。

大阪市旭区にて内科・小児科を開業になり地域医療に携わってこられました。

ご遺族 長女 岡崎邦子様

#### 高医 15 期 坂上 晃先生

平成 25 年 7 月 15 日老衰の為ご逝去 (97 歳)。昭和 20 年卒。

島根県大田市にて 37 年間医療に従事され、85 歳になられた平成 13 年 3 月地域の皆様に惜しまれながら閉院、故郷の松江市に移られ悠々自適の生活を楽しみにされていましたが、新設の介護施設の委託医にと請われ同年 4 月より平成 24 年 8 月までの約 11 年余りご勤務されました。お勤めの間に加齢と老衰により食事もままならない状態になりましたが、それを気力で乗り越えてこられました。「毎日輸液で水分を補い乍ら医師としての使命と懸命の頑張りで入所の方々の脳のリハビリを手伝い、自分自身も振らつきながらも楽しみつつ通いました。痛々しい姿でありながらよくぞそこまでと壮絶なまでの使命感と精神力に唯々驚くばかりの毎日でした。昨年 6 月市民病院に入院。延命処置も固くお断りして 7 月 3 日思い出いっぱい施設に入所。所長先生始め 10 年交わりましたスタッフの皆さんに見守られ乍ら安堵の永い眠りにつきました。」との奥様のお言葉です。

ご遺族 妻 洋子様

#### 高医 16 期 谷内岩男先生

平成 25 年 5 月 5 日大腸癌・癌性腹膜炎・DIC の為ご逝去 (90 歳)。昭和 22 年卒。

昭和 23 年より神戸市立中央病院にて産婦人科医として勤務された後、昭和 26 年大阪市港区にて開業され、昭和 33 年に医療法人龍神堂会龍神堂医院を開設なさいました。昭和 35 年学位授与 (大阪大学より)。昭和 47 年日本学校医会表彰 (功労)。昭和 52 年大阪市民表彰 (功

勞)。昭和 55 年大阪府教育委員会表彰(功勞)。昭和 57 年大阪市民表彰(勤続)。昭和 61 年大阪府民表彰(功勞)。平成 2 年文部大臣表彰(功勞)。平成 3 年厚生大臣表彰(功勞)等多数表彰の榮に浴されました。

ご遺族 妻 ヨシ子様

#### 高医 18 期 石浦恒夫先生

平成 25 年 8 月 28 日慢性閉塞性肺疾患の為ご逝去(86 歳)。昭和 24 年卒。

昭和 46 年より高槻市にて内科医院を開業され、平成 9 年 9 月に閉院されるまでの 27 年間に地域医療に尽くされました。

ご遺族 妹 光子様

#### 高医 18 期 緒方脩作先生

平成 25 年 10 月 20 日上行大動脈瘤破裂の為ご逝去(87 歳)。昭和 24 年卒。

昭和 30 年に大阪市淀川区にて産婦人科・内科を開業されました。平成 5 年より医療法人緒方会クリニックを開設され、以降平成 20 年まで産婦人科医・院長として地域医療に携わられました。

ご遺族 妻 百合子様

#### 高医 18 期 中野 幹先生

平成 25 年 11 月 22 日誤嚥性肺炎の為ご逝去(90 歳)。昭和 24 年卒。

済生会松阪病院・名古屋保健衛生大学七栗サナトリウム・特別養護老人ホーム笑美の里にて内科医として勤務されました。また仁泉会三重県支部長として会務運営にご尽力いただきました。

ご遺族 弟 東右様

#### 高医 20 期 高須輝也先生

平成 25 年 11 月 19 日前立腺癌の為ご逝去(85 歳)。昭和 26 年卒。

国立岩国病院でインターンをされた後、母校の附属病院内科に入局されて研鑽を積み学位を授与されています。昭和 39 年に愛媛県今治市にて先代の医院を継承し開業されました。80 歳までの 42 年間に亘り地域医療に貢献されました。“高齢者に過剰医療は不要、適切な医療を見極めてそれを施す。”をモットーに、自らの身をもって実践されました。

ご遺族 妻 淳子様

長男 逸平様

#### 高医 20 期 藤高道也先生

平成 25 年 9 月 25 日脳梗塞の為ご逝去(86 歳)。昭和 26 年卒。

広島市にて外科・整形外科を開業されました。また、仁泉会理事として会務運営にご尽力いただきました。

ご遺族 妻 為能様

#### 学部 1 期 田邊彌吉先生

平成 25 年 11 月 25 日肺炎の為ご逝去(87 歳)。昭和 27 年卒。

東京都にて渋谷駅前診療所を開設され、院長・眼科医として医療に携わられました。

ご遺族 妻 八重子様

#### 学部 3 期 阪本龍夫先生

平成 25 年 7 月 27 日大腸癌の為ご逝去(84 歳)。昭和 29 年卒。

昭和 42 年 5 月に尼崎市にて内科診療所を開設され、平成 19 年 3 月に閉院なさるまでの 41 年間に亘り地域医療に貢献されました。その後静かな老後を過ご

されていたとの奥様のお言葉です。

ご遺族 妻 愛子様

### 学部 3 期 山内和男先生

平成 25 年 11 月 1 日肺炎の為ご逝去 (84 歳)。昭和 29 年卒。

京都府立医科大学第 2 外科にて博士号を取得されました。南丹病院外科にて副部長・部長としてお勤めの後、京都市伏見区にて内科・外科医院を開設されました。

ご遺族 妻 栄子様

### 学部 4 期 山田真喜雄先生

平成 25 年 2 月 24 日肝細胞癌の為ご逝去 (82 歳)。昭和 30 年卒。

昭和 48 年大阪市旭区にて内科・外科医院を開業されました。30 年に亘り小学校校医、老人保健施設医をお務めになるなど医業に尽力されました。

ご遺族 妻 喜代子様

### 学部 9 期 公文 康先生

平成 25 年 9 月 17 日急性肺炎の為ご逝去 (79 歳)。昭和 35 年卒。

神戸市長田区にて医療法人社団康人会 適寿リハビリテーション病院を開設され、日本小児科学会認定専門医、日本リハビリテーション医学会認定専門医として地域医療を支えてこられました。日本園芸療法学会理事、園芸療法研究会西日本会長等お務めになられました。

ご遺族 妻 恵美様

### 学部 10 期 鎌田達雄先生

平成 25 年 10 月 23 日大腸癌の為ご逝去 (79 歳)。昭和 36 年卒。

母校第 2 内科に入局後、枚方市民病

院・生駒総合病院にて消化器内科医として勤務されました。

ご遺族 妻 益子様

### 学部 11 期 石崎俊介先生

平成 25 年 12 月 15 日ろ胞性リンパ腫の再燃の為ご逝去 (77 歳)。昭和 37 年卒。

昭和 38 年母校眼科へ入局され、昭和 44 年に医学博士学位を授与されました。同年より枚方市民病院でお勤めになった後、昭和 46 年に奈良市にて開業されました。

ご遺族 長男 英介様 (学 45 期)

### 学部 12 期 松田春洋先生

平成 25 年 8 月 17 日大腸癌の為ご逝去 (76 歳)。昭和 38 年卒。

昭和 43 年大学院を修了されました。母校第 2 内科への入局を経て堺市田仲北野野病院副院長に就任なさった後、平成 7 年より平成 22 年まで羽曳野市にて開業されておられました。

ご遺族 妻 順子様

### 学部 14 期 田攸順慧先生

平成 25 年 12 月 10 日肺癌の為ご逝去 (87 歳)。昭和 40 年卒。

高知市にて田攸内科をご開設になり院長として地域医療に携わられました。

ご遺族 弟 公臣様

### 学部 15 期 大塚俊宏先生

平成 25 年 12 月 10 日脳梗塞の為ご逝去 (74 歳)。昭和 41 年卒。

平成 2 年 1 月 1 日から平成 25 年 4 月まで豊中市にて内科を開業され、地域に親しまれる医院を目標に外来診療に尽力されました。医院はご子息様が継承され

ています。

ご遺族 妻 美智子様  
ご子息 宏治様 (学 47)

### 学部 21 期 吉川幸弘先生

平成 25 年 12 月 7 日急性心不全の為ご逝去 (67 歳)。昭和 47 年卒。

昭和 47 年 4 月より大阪回生病院にて研修の後、昭和 49 年に母校第 1 外科に入局され、昭和 55 年に博士学位を取得されました。昭和 60 年より医療法人山弘会上山病院でのご勤務を経て昭和 61 年 11 月巖生会脳神経外科病院をご開設になり、特に救急医療に力を注がれ、地域医療を支えてこられました。昭和 55 年日本脳神経外科学会評議員。昭和 61 年日本脳神経外科学会近畿地方会評議員。平成 4 年医療法人信愛会交野病院理事長。平成 7 年医療法人信愛会新生病院理事長。平成 11 年社会福祉法人盛幸会常務理事。平成 12 年大阪医科大学主関連病院役員。平成 15 年日本病院脳神経外科協会理事。平成 23 年社会医療法人信愛会理事長等を歴任されました。

ご遺族 妻 恭子様

### 学部 22 期 戸田 均先生

平成 25 年 12 月 19 日肝癌の為ご逝去 (65 歳)。昭和 48 年卒。

母校第 2 内科に入局されました。昭和 54 年より南大阪病院にてお勤めになった後、平成 5 年に大阪市西成区にて戸田医院を開設され、平成 8 年には医療法人こすもすを設立されました。また仁泉会西成区支部長として会務運営にご尽力いただきました。

ご遺族 妻 千鶴子様

### 特別会員 竹内利幸先生

平成 24 年 7 月 31 日老衰の為ご逝去 (81 歳)。昭和 28 年中国医大卒。

昭和 28 年に帰国され、昭和 34 年より高槻市にて外科・内科を開業されておられました。昭和 36 年～61 年高槻市医師会理事。市医師会副会長。保険医協会高槻支部副支部長等お務めになられました。

ご遺族 娘 望様

### 編集後記

12 月号掲載の安藤嗣彦先生のリレーエッセイ、先月号の渡辺信治先生の記事と学歌の話題が続いております。もちろん小筆も知っておりますし、歌えます。ところで、皆様はその他の校歌を覚えておられるでしょうか。小筆は高校の校歌は何とか憶えております。中学校とかなるとかなり怪しく、小学校のものはさだかではありません。この差はやはり繰り返しによるものかと思えます。大学学歌は在学中も卒業後も、様々な場面で歌う (歌わされる?) 機会があり、海馬に摺り込まれてしまいました。今月号には福井県支部総会でおそらく学歌を歌っておられる写真が掲載されており、和歌山県支部総会記事にも学歌斉唱でお開きとあります。「暁映ゆる」は難解な歌詞と古風ゆかしい旋律ですが、今後も親しんでゆくことになるのでしょうか。小中学校のものは、卒業以来歌ったこともありませんので忘れていっています。さて今度の休みにでも卒業アルバムを引っ張りだして、小中学校、高校の校歌を思い出してみませんか。 (治)

### クリニック新規開業のご案内



住所 : 大阪市北区与力町 7 番地 9 号 グロリア与力 102 号室  
(ファミリーマート与力町隣、大よし天満店)

面積 : 106 m<sup>2</sup>

最寄駅: 大阪市営地下鉄堺筋線扇町駅 (徒歩 5 分)  
: JR 大阪環状線天満駅 (徒歩 5 分)

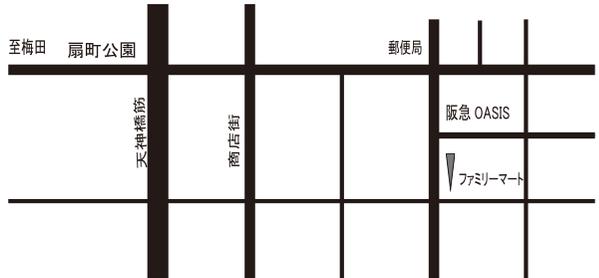
推薦診療科: 眼科、耳鼻咽喉科、小児科、内科等

お問合せ: 有限会社エムアセット・マネジメント

HP: 090-8195-0914 担当: 牟 (モウ)

e-mail: dsmo51@yahoo.co.jp

駅近! 中層マンションに隣接!  
最適の環境で開業しませんか?



### 医療ビルテナント募集

場所: 大阪市浪速区難波中 2 丁目 3-3

3F エリア: 約 40 坪

坪単価 12,000 円(要相談)

保証金 家賃の 10 ヶ月分(要相談)



クリニックビルのテナントを募集いたします。3F エリアになります。  
1-2F は、内科・胃腸科  
4F は、皮膚科・形成外科  
5F は、婦人科  
開業中  
大阪難波駅すぐという好立地条件。  
開業をお考えの先生方、お気軽にお問い合わせて下さい。  
詳しくはお電話にて。  
学 36 期 森川浩志

心療内科・眼科・耳鼻科など最適

お問い合わせ先  
仁泉会事務局  
TEL 072-682-6166

対応は  
もうお済み  
ですか？

# 緊急対策

## 相続税が大幅に増税されます！

### 1 節税対策【無駄なく】

現金・預金で資産をお持ちの方については、**重い相続負担を軽減**するためのたくさん方法があります。土地評価については、**個別事業や法律上の制約を丹念に拾い上げ**反映させることによって、評価を減額できる場合は少なくありません。**最も無駄のない節税対策**を提案いたします。

### 2 納税資金対策【手堅く】

株や**生命保険**を使って、相続税を納めるための資金を**計画的に確保**し、相続人が重要な事業用資産やお住まいを**失うことのないよう**に提案いたします。

### 3 遺産分割対策【円滑に】

相続対策はできれば**生前から計画的**にしたいもの。実際の相続が始まってからの申告・納税作業が適切に行われなければなりません。生前の相続対策は親中心に行いますが、**申告のときには相続人である子ども**が行います。「そのとき」が来てからあわてないように、私たちが親と子の間に入って**スムーズな継承**を行います。

### 4 資産活用対策【資産の継承】

資産の種類も様々なものがあり、運用方法も種類によって様々です。

- ①**生命保険**で万が一に備える。
- ②銀行預金・郵便貯金などの**貯蓄**。
- ③賃貸住宅経営等の**資産活用**による**節税**。

初回の  
相談は  
無料です

## 創業37年の、 安心。

相続税についての疑問や不安をお持ちの皆様。  
税金のプロ、資産活用サポートのプロである  
我々にぜひおまかせください！

谷丸会計事務所 0120-86-25-86

※繋がらない場合は 072-678-1251 ※受付時間 / 9:00~19:00

大阪事務所 / 大阪市北区天神橋 2-4-17 千代田第一ビル 7F  
TEL 06-6949-8152

高槻事務所 / 高槻市芝生町 1-14-2 TEL 072-678-1251

web/<http://tanimaru.jp>

mail/[tax@tanimaru.jp](mailto:tax@tanimaru.jp)